

<構想の名称>

岩手の豊かな自然を活かした岩手県活性化策

<背景とねらい>

岩手県には、山間地が比較的多い反面、山・川・海など豊かな自然に恵まれており、これまでも、それら自然をベースに、岩手県民の穏やかな人間性が形作られてきているとともに、一次産業の母体となる他、観光など三次産業にも大きく貢献してきている。

その一方で、新幹線、高速道路が比較的早い時期に整備されたことを受け、二次産業としての工場誘致も進められてきたが、これからの低成長時代の中では、二次産業は先行き不透明であり、将来的な県民の活性化を考慮した場合、並行した別の切り口からの施策が必要と考えられる。

したがって、岩手県の将来を考えた場合、豊かな自然を資源として、これを有効活用していくことが、岩手県産業、そして県民の継続的な活性化の決め手となるものと考えられる。また、自然を資源とする施策としては、三次産業への傾注ではなく、一次産業と三次産業を融合させた取り組みを行うことが、人的資源の拡張も実現する有効な手段となりえると考えられる。

以上のことから、本構想では、岩手県の豊かな自然を活用して、県内外の人々に魅力あるメニューを提供するとともに、これを継続的に活性化させていく施策を総合的に展開することを志向した。

<構想の基本的考え方>

1. 岩手県にある豊かな自然を山・川・海に整理し、それらを活かした活動メニューの中から、次の3つを、他県に対してもアピールできる新規事業（これまである事業の拡張も含む）として選定し、『基本施策』とした。

【『山』の自然活用】多くの人が安心してチャレンジできる登山環境の構築

岩手県には、盛岡地域の岩手山、早池峰山、姫神山の岩手三名山を始め、多くの登山に適し、その達成感が高い山々がある。これまでも各自治体や山岳会の皆様のご尽力で登山文化が培われてきたが、ここに、もっと県内外の登山者が安心して参加できるように、施設の整備を始めとする環境整備を実施するもの。

【『川』の自然活用】猊鼻溪とは違う特徴の川下りスポットの開発

岩手県では、川を活用した観光として、古くから猊鼻溪の船下りがある。その一方で、北上川に代表されるゴムボート川下りが、盛岡の夏の風物詩として定着している。これらの川を活用する文化を最大限に活かし、広い字溪谷をゆったりと、またゴムボート川下りのスリリングな面を経験できるような、猊鼻溪とはまた違う新しく船下り・川下りの開発に、チャレンジするものである。

【『海』の自然活用】三陸リアス式海岸の景勝地が、手軽に効果的に体験できる観光遊覧船事業の拡大

岩手の三陸海岸は、その断崖絶壁が連なる日本でも有数の地形であり、高台からの遠望だけでなく、船からの観賞を効果的に組み合わせることで、その観光価値は最大限に発揮されるものと考えられる。バスツアー企画だけでなく、車できた観光客が、効果的かつ合理的に回れるルート・システムを開発するものである。

2. 上記3つの基本施策を実現するにあたり、それが岩手県民を挙げての取り組みとして活性化につなげるため、次の3つの関連施策を設定した。

新規事業者の安定した収入確保に向けた関係する既存一次産業の育成

観光産業を活性化するには、それらの事業に安心して従事できるような支援策が必要と考えられる。観光には季節的に波があることから、それらを補填するような事業として、自然に関わる観光地に近接して営める産業（一次産業など）を、合わせて開発し、それらへの従事者を的確に支援できる体制作りが必要と考えられる。これにより、観光開発に関連させた一次の地場産業の活性化も実現できると思われる。なお、本構想では、これら一次産業施策の詳細については、別途その道の専門家にゆだねたい。

県民の地元就業意識醸成に向けた教育の推進

上記の新規事業が将来的に安定するには、それに従事する若い人材が必要であり、小学校・中学校と地元で生活していく若者に対し、地元での活躍を志向してもらうためには、これら岩手の自然がいかにかにすばらしいものかを、そしてそれを守りその恩恵を受けて働いていくことの意義を感じるため、体験も含めた勉強の機会を充実させていく必要がある。

今回の基本施策は、それらへの興味をアピールするのにも適切なものと考えられる。

県外からの移住者（U・J・Iターナー）獲得に向けた取り組み

地元出身のみならず、都会での生活に飽きた人、新しい生活を望む人などを、如何に岩手に根付かせていくか、この取り組みも合わせて実施していくことが活性化への道である。岩手のすばらしい自然を直接体験してもらおうことで、再度岩手を訪れる機会を持ってもらうとともに、一次産業の業務体験などのメニューも合わせて用意することで、岩手への移住の選択への一助となるような取り組みをしたい。

<構想に基づく取組等の概要（具体的な内容）>

1. 3つの基本施策について、各々の具体的実施項目は以下のとおり。

【『山』の自然活用】多くの人が安心してチャレンジできる登山環境の構築

登山口、駐車場への管理者常駐、ビジターセンターの設置

登山の前後のサービス提供（機材の貸借や、登山指導なども含む）としての、ビジターセンターを整備する。合わせて、安心して車を置いて登山ができるように、駐車場管理を実施する。

途中位置・先行きがわかりやすい、登山道の表示

初めての人も、残りのくらくらいかかるか、などの情報が得られやすいような標識を整備する。

マスコミも活用した「週間・当日の登山予報」の提供

週末の山の天候予報や、当日に山の気象状況が的確に入手できるようなシステムを構築する。

「登山」&「秘湯」が手軽に実現できるツアーの展開

初めての人も、車も無い人も気軽に参加できるようなツアーを設定する。

【『川』の自然活用】狛鼻溪とは違う特徴の川下りスポットの開発

V字渓谷での、のんびり川下り

狛鼻溪（砂鉄川）ほどの絶壁でなく、ある程度広さを感じながらのんびりと楽しめる川下りスポットの開発（阿武隈川（宮城）、最上川（山形）が参考）

ある程度流れの速いスリリングな川下り（ゴキウト川下りの発展型）

ある程度の流れの中、セイフジャケットを着用の上、ボートに大きく揺られながらスリルが体験できる川下りスポットの開発

季節を問わない船下りの実現

冬は、ビニールの覆いの中で、暖かいものを食べながらの川下りメニューの設定

【『海』の自然活用】三陸リアス式海岸の景勝地が、手軽に効果的に体験できる観光遊覧船事業の拡大

手軽に乗れる「遊覧船」システムの開発

現地に行って、時間を気にせず気軽に乗れるような、遊覧船システムの開発

「高台から」と「遊覧船から」の観賞が、効果的にできるルートの開発
高台からの観賞と、遊覧船からの観賞が、ロス時間が少なく両立できるような遊覧船の発着場、
時間帯の構築

2. 関連施策については、下表のとおり

新規事業者の安定した収入確保に向けた既存産業の育成	地元就業意識醸成に向けた県民教育の推進	県外からの移住者（U・J・I ターン）獲得の取り組み ：リビータ拡充策 ：就業者獲得策
【『山』の自然活用】 多くの人々が安心してチャレンジできる登山環境の構築	・登山管理業」就業者が合わせて就業できる、山麓・中山間に適した農林業の開発と新規就業者への支援 ・「川下り業」就業者が合わせて就業できる、溪流魚等の養殖、放流など内水面漁業の活性化と新規就業者への支援	登山経験の無い都会の人に、「熊鈴つけて、ちよこっと登山」を体験してもらおうツアーの企画（着替え準備等の登山口施設整備） 農業・林業に関わる実業務体験
【『川』の自然活用】 猊鼻渓とは違う特徴の川下りスポットの開発	・生活を守る「治水」、発電・飲み水を作る「利水」、生活に安らぎを与える「憩いの空間」、そして海の漁業を育む、「川」の役割について、体験を含めた勉強会の実施 ・三陸海岸の成り立ち・三陸沿岸海流と魚の他現地体験と勉強会の実施	北上川ゴムボート川下り大会相手の体験ツアー「ゴムボート&わんこそば」の企画（着替え・機材の準備館整備） 内水面漁業に関わる実業務体験
【『海』の自然活用】 三陸リアス式海岸の景勝地が、手軽に効果的に体験できる観光遊覧船事業の拡大	・「遊覧船事業」就業者が合わせて就業できる、三陸沿岸漁業の活性化と新規就業者への支援 ・「遊覧船事業」就業者が合わせて就業できる、三陸沿岸漁業の活性化と新規就業者への支援	リアス式海岸の名勝を海から体験するツアーの企画 沿岸漁業に関わる実業務体験

3. 岩手の自然を活かしたその他の施策

安家洞見学を、「手軽に行って重装備で見学」ができるようなシステムとし、ツアーに組む。

「龍泉洞」とタイアップし、龍泉洞を見学した人が、次に機会には「安家洞」に行こうと、気軽に思えるような基盤整備。安家洞に、必要機材が賃貸でき、着替えスペースを完備したピジャセンターを設置。

岩手の鮮明な夜空を活かした「星見ツアー」の企画

夜間のプチ天体観測（ちよっと星見）をサポートするような施設（駐車場、トイレ、非常連絡等）の整備。

より実践的な指導員が常駐する魅力あるキャンプ場の設置

初心者の方が、安心して行けるように、幅広く対応してもらえらる指導員を常駐させるなど、他とは一味違った魅力あるキャンプ場作り。

<取組にあたっての役割分担（県民・NPO・企業・団体・市町村など）>

基本施策

県が、関係団体、現在の関係事業者、新規希望事業者を集約して、実行委員会（プロジェクトチーム）を立ち上げ、その委員会の元、事業計画の立案と立ち上げ支援を行う。

関連施策

既存産業の育成

実行委員会の支援の下、市町村と農・林・漁業の各組合・組合員が、各基本施策に適する一次産業項目の検討、および新規参入者への支援を行う。

県民教育の推進

実行委員会の支援の下、各市町村が学校・関係団体等と連携して企画・実施

県外からの移住者獲得の取り組み

実行委員会の支援の下、各当該市町村が、関係団体、現在の事業者と共同で対応。

岩手の豊かな自然を活かした岩手県活性化策

岩手県の豊かな自然		自然を活かした活動メニュー			10年後に向けた活性化への取り組み			基本施策を支援する関連施策	
岩手県の豊かな自然	スポーツ	レジャー観光	三次産業	一次産業	◎岩手の自然を活かした新規事業の創造の基本施策 ○:具体的実施項目	新規事業者の安定した収入確保に向けた既存産業の育成	地元就業意識醸成に向けた県民教育の推進	県外からの移住者(U・J・Iターン)獲得の取り組み ○:リピーター拡充策 ●:就業者獲得策	
山	登山 スキー スノーボード	山岳観賞 山岳ドライブ ハイキング 山菜取り 秘湯	スキー場運営 登山道管理 温泉経営	林業 農業	◎多くの人が安心してチャレンジできる登山環境の確立 ○登山口、駐車場への管理者常駐 ○ピジターセンターの設置 ○途中位置・先行きがわかりやすい表示 ○マスコミも活用した「週間・当日の登山予報」の提供 ○「登山」&「秘湯」が手軽に実現できるツアーの展開	・「登山管理業」就業者が合せて就業できる、山麓・中山間地に適した農林業の開発と新規就業者への支援	・登山・ハイキング実習(装備の貸し出し含む) ・岩手山(活火山)などの成り立ち他現地体験と勉強会の実施 ・農業体験学習の強化	○登山経験の無い都会の人に、「熊鈴つけて、ちよこっと登山」を体験してもらうツアーの企画(着替え準備等の登山口施設整備)。 ●農業・林業に関する実業務体験	
川・沼	ゴムボート ト川下り	溪流観賞 船釣り 溪流釣り わかさぎ釣り キャンプ 船下り ボート	船下り運営 キャンプ場運営 景勝地管理	内水面 漁業	◎流鼻溪とは違う特徴の川下りスポットの開発 ○V字渓谷でのんびり川下り(阿武隈川(宮城)が参考) ○ある程度流れの速いスリリングな川下り(ゴムボート川下りの発展型) ○季節を問わない船下りの実現	・「川下り業」就業者が合せて就業できる、溪流魚等の養殖、放流など内水面漁業の活性化と新規就業者への支援	・生活を守る「治水」、発電・飲み水、生活を作る「利水」、生息に安らぎを与える「憩いの空間」、そして海の漁業を育てる「川の役割」について、体験を含めた勉強会の実施	○北上川ゴムボート川下り大会相当の体験ツアー「ゴムボート&わんこそば」の企画(着替え・機材の準備館整備)。 ●内水面漁業に関する実業務体験	
海	海水浴 サーフィン	名勝観賞 海水浴 遊覧船 海釣り キャンプ	海水浴場運営 遊覧船運営 釣り船運営 キャンプ場運営 景勝地管理	漁業	◎三陸リアス式海岸の景勝地が、手軽に効果的に体験できる観光遊覧船事業の拡大 ○手軽に乗れる「遊覧船」システムの開発 ○「高台から」と「遊覧船からの観賞が、効果的にできるルートの開発	・「遊覧船事業」就業者が合せて就業できる、三陸沿岸漁業の活性化と新規就業者への支援	・三陸海岸の成り立ち・三陸沿岸海流と魚の他現地体験と勉強会の実施	○リアス式海岸の名勝を海から体験するツアーの企画 ●沿岸漁業に関わる実業務体験	
その他	龍泉洞 安家洞	鍾乳洞見学	鍾乳洞運営	-	◎安家洞見学を、「手軽に行って重装備で見学」ができるようなシステムとし、ツアーに組み込む。 ◎岩手の鮮やかな夜空を活かした「星見ツアー」の企画 ◎より実践的指導員が常駐する魅力あるキャンプ場の設置	○各鍾乳洞の成り立ち他現地体験と勉強会の実施	○安家洞体験ツアーの企画		
分担					県が音頭取り・声掛けを実施し実行委員会を立ち上げ、関係団体・現在の事業者と協議。	市町村と農・林・漁業の各組合・組合員が検討・支援	各市町村が学校・団体等と連携して企画	各当該市町村と団体・業者で対応。	

『岩手の豊かな自然を活かした岩手県活性化策』の概要

岩手の自然と
それを活かした産業

【山】

《岩手山, 早池峰山, 八幡平 ets》
・スキー場運営
・登山道管理
・温泉経営

【川・沼】

《尻鼻溪, 巖美溪, 北上川 ets》
・船下り運営
・キャンプ場運営
・景勝地管理

【海】

《北山崎, 浄土ヶ浜, 碓石海岸 ets》
・海水浴場運営
・遊覧船運営
・釣り船運営

《課題②》
若い人の県外
へ流出

【関連施策②】
地元就業意識醸成
に向けた県民教育
の推進

【山】多くの人が安心してチャレンジできる登山
環境の確立
【川・沼】尻鼻溪とは違う特徴の川下りスポット
の開発

基本施策

【海】三陸リアス式海岸の景勝地が、手軽に
効果的に体験できる観光遊覧船事業の拡大

【課題①】
季節・気象等に
動ずる観光業

【関連施策①】
新規事業者の安定し
た就業に向けた既存
産業の育成

【課題③】

・今後とも続く盛岡
周辺以外の人口
の減少

【関連施策③】

・県外からの移住
者(U・J・I ターン)獲
得の取り組み

岩手県の活性化